

2025 ClassNK 技術セミナー プログラム

受付開始（9:30 予定）

開会挨拶（10:00～10:10）

規則改正等の解説（10:10～12:15）

鋼船規則等の改正概要

2025 年に行った規則改正及び今後予定している規則改正のうち主要なものについて、船体、機関・電気設備、艀装・海洋構造物の 3 つの分野に分けてその概要を解説いたします。

船体関連

- 鋼船規則 C 編関連
- コンテナ固縛設備の承認

機関・電気設備関連

- 低引火点燃料及びガス燃料の燃料油供給証明書等
- 単一の推進用電動機に対する冗長性
- 往復動内燃機関の爆発に対する保護
- IGC/IGF コードの今後の動向

艀装・海洋構造物関連

- 全閉型救命艇の換気要件
- 揚貨装置及びアンカーハンドリングウインチの規則改正
- 電子海図情報表示装置（ECDIS）の性能基準の改正

SOLAS II-1 章改正による揚貨装置の検査強制化についての解説

これまで一部の旗国を除いて揚貨装置の登録及び検査は任意でしたが、2026 年 1 月 1 日の SOLAS II-1/3-13 新設に伴い揚貨装置の検査が強制化されます。本要件について適用対象や必要な準備等を紹介いたします。

昼休憩（12:15～13:15）

※お申し込みの際に「お弁当が必要」と回答されている方には昼食をご用意しております。

国際条約等の最新動向（13:15～14:55）

国際条約等の動向

IMO 海上安全委員会及び海洋環境保護委員会の最新の審議結果より、非常用曳航設備の適用拡大、水先人用移乗設備、SCR 認証ガイドラインの改正、GHG 規制等について紹介いたします。

IMO GHG 削減中期対策

IMO 臨時海洋環境保護委員会（MEPC ES2、本年 10 月）で採択予定の IMO GHG 削減中期対策（GFI 規制、ネットゼロ基金）について、規則内容や今後のスケジュール等を解説するとともに、本会の取り組みについて紹介いたします。

IMO GHG 削減中期対策を踏まえたコストシミュレーション

IMO GHG 削減中期対策開始後のコスト見通しと今後の海運ビジネスへの影響について、業界関係者の皆様の戦略検討を支援する本会のサポートとあわせて紹介いたします。

休憩（14:55～15:15）

最新の技術動向と本会の取り組み（15:15～16:15）

自動運航船の今を知る－最新動向と本会の取り組み－

非義務的国際規則の採択が 2026 年に迫っており、自動運航船の社会実装に向けた機運が一段と高まってきています。本講演では、自動運航船の規則開発動向を中心に自動運航船の国内外の動きについて解説するとともに、本会が 2025 年 1 月に発行した「自動運航・自律運航に関するガイドライン（ver. 2.0）」の内容を紹介いたします。

洋上風力の展望と関連する作業船の安全に関する本会の取り組み

現在進行している着床式洋上風力と今後普及促進が図られる浮体式洋上風力について政府の方針を解説するとともに、建設・O&M で使用される作業船についてその安全確保のための本会の取り組みを紹介いたします。

閉会挨拶（16:20 閉会予定）